

## インド タミル・ナドゥ州産業・貿易促進局との 業務協力覚書の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）は、2015年9月10日付で、インド タミル・ナドゥ州産業・貿易促進局（Tamil Nadu Industrial Guidance & Export Promotion Bureau、以下「Guidance Bureau」）との間で業務協力覚書（以下「本覚書」）を締結しました。

Guidance Bureau は、インドのタミル・ナドゥ州政府の主要政府機関で、産業発展や貿易の促進を担っています。また、外国企業の投資許認可の申請受付やアドバイス等の役割も担っており、同州への投資を検討する場合の窓口となる州政府機関です。

〈みずほ〉は2010年2月に Guidance Bureau との間で日系企業進出支援に関する業務協力覚書を締結しておりましたが、このたび、本覚書の締結を通じて、これまで以上に日系企業のタミル・ナドゥ州への投資促進を積極的に推進していきます。具体的には、①マネジメント間での定期的な直接意見交換の実施、②Web等の情報提供ツールを活用した情報発信機能の拡充、③勉強会やセミナーの開催、といった取り組みをさらに強化していきます。

〈みずほ〉は、本覚書締結により、インドならびにタミル・ナドゥ州の経済発展に貢献するとともに、当地への新規進出や事業拡大を検討するお客さまの事業展開を従来以上にサポートしていきます。

以 上

### （ご参考）タミル・ナドゥ州の概要

タミル・ナドゥ州（州都：チェンナイ）は、チェンナイ港、エンノール港等の大型港湾を有し、自動車・自動車部品をはじめ電子部品、IT、機械等各種産業が発達したインドの南部の州。インドの中でも経済成長著しい地域の一つであり、充実した産業インフラ、豊富な労働力、東南アジアに近接する地理的な魅力に加え、積極的な外資誘致により、日本のみならず諸外国の産業界から注目されている地域。今後、工業団地開発や港湾・道路の整備拡張等、さらなるインフラ整備・開発が見込まれている。